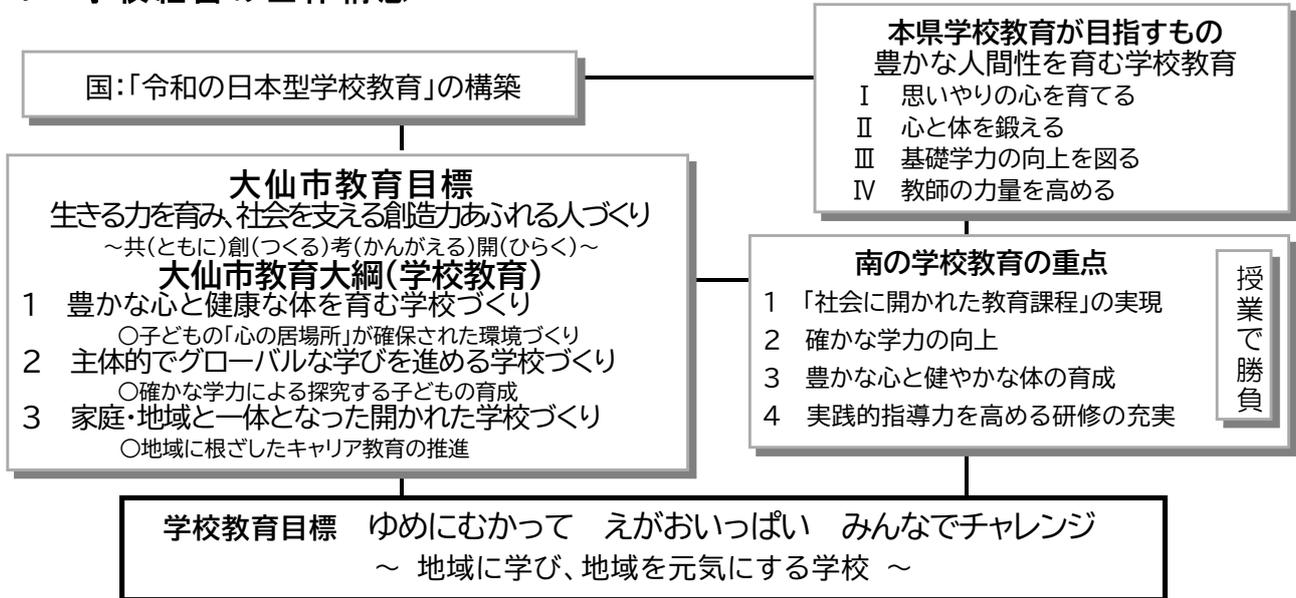


4 学校経営の全体構想



目指す学校の姿

- 思いやりと元気にあふれた学校
- 「楽しく分かる授業」が保障された学校
- 地域とともにある学校



目指す子どもの姿

- < やさしく >
○思いやりの心を伝え合う子ども
- < かしく >
○進んで学び表現する子ども
- < たくましく >
○前向きにチャレンジする子ども

目指す教職員の姿

- < ゆめにむかって >
○子どもとともに夢の実現に努力する教職員
- < えがおいっぱい >
○笑顔で前向きに取り組む教職員
- < みんなでチャレンジ >
○楽しく分かる授業を実現する教職員

重点1

子どもの自己肯定感、自己有用感を高める教育活動の推進

- ・子どもの声に耳を傾け、「褒めて伸ばす」指導の継続
- ・思いやりの心や自己有用感を育む縦割り活動の充実

重点2

子ども主体で確かな資質・能力の育成を目指した「楽しく分かる授業」の実践

- ・「問い」にこだわり、授業や単元の「ゴール」をイメージした構造的な授業づくり
- ・子ども同士の対話を重視し、互いの学びをつなげ生かす授業の構築

重点3

教職員の笑顔と心身のゆとりを生み出す業務改善の推進

- ・各種事業の振り返りと教職員の思いを大事にしたボトムアップ型業務改善
- ・互いに声を掛け合い、時間を意識した働き方を実施しようとする意識改革

重点4

地域素材や伝統芸能等を生かしたふるさと教育の推進

- ・「地域学校協働活動」や「中仙桜守協議会」、園小中及び行政等とのさらなる連携の充実

< 子どもの学びを支える特色ある教育活動 >

- 「地域学校協働活動」「桜守協議会」を核としたふるさと教育の充実
 - ・八乙女山の桜を守る活動
 - ・伝統芸能の継承(長野ささら、ドンパン踊り)
- 中仙地区教育研究会を核とした中学校区間の連携
 - ・小中連携による「あいさつ運動」
 - ・連携による授業改善・家庭学習推進
- リーディングDX事業の推進によるICTの有効活用

